

リゾート会員権2%高

7月 猛暑影響か、需要拡大

リゾート会員権の販売を仲介するe会員権(横浜市)がまとめた7月の会員権の平均価格は、前月から5万円(2%)高い325万円だった。2カ月連続で前月比で上昇した。高価格帯の会員権

が相場をけん引した。リゾート会員権は会員の制のホテルや施設を利用できる権利で、仲介会社などを通じて購入する。会員権の保有者は年会費などを支払い、年間の規定の日数まで安く宿泊で

きる。会員権価格は基本的に、市場に出ている売り希望値ベースで算出される。300万円以上の高価格帯の会員権が上昇し、平均価格を押し上げた。リゾートトラストが運営する「エクシブ」の高

額物件の取引数は前月比で2倍に増えた。猛暑が続く、リゾートで過ごすニーズが高まったうえ、7月下旬の日米関税交渉の合意を受けて、買い手のリスク回避姿勢が弱まり、会員権に資金を回す動きが出たもようだ。100万円未満の低価格帯では予約の取りやすさや海からの近さを理由に、「鴨川リゾートクラブ ジャイロ」などの引

き合いが増えたという。

e会員権の涌井智子代表は相場の先行きについて、米関税政策への警戒感が残るとしながらも、

「例年8月後半は問い合わせが増える時期で、9月以降の相場の下支えにつながる可能性がある」と予測する。